



2024年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月10日

上場会社名 トラストホールディングス株式会社
コード番号 3286 URL <https://www.trust-hd.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 修
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 原 宗平
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 福
TEL 092-437-8944

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第3四半期の連結業績(2023年7月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	9,412	0.1	422	14.9	368	20.1	208	7.3
2023年6月期第3四半期	9,419	4.9	367	3.5	306	10.7	225	0.9

(注) 包括利益 2024年6月期第3四半期 211百万円 (5.5%) 2023年6月期第3四半期 223百万円 (0.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第3四半期	55.39	
2023年6月期第3四半期	60.71	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期第3四半期	8,806	785	8.9	206.94
2023年6月期	9,431	622	6.6	166.31

(参考) 自己資本 2024年6月期第3四半期 785百万円 2023年6月期 622百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期		5.00		10.00	15.00
2024年6月期		8.00			
2024年6月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	2.8	620	8.9	520	1.9	300	25.0	80.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期3Q	5,204,500 株	2023年6月期	5,204,500 株
期末自己株式数	2024年6月期3Q	1,406,528 株	2023年6月期	1,461,288 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期3Q	3,771,081 株	2023年6月期3Q	3,713,574 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症における行動制限の緩和等により社会経済活動は回復基調にありましたが、ウクライナ情勢の長期化による原材料及びエネルギー価格の高騰や急激な為替変動等の影響もあり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、駐車場事業の収益力向上、不動産事業における新築マンションの販売強化及び駐車場等小口化事業における「トラストパートナーズ」の販売拡大の他、各種事業の収益改善等に注力してまいりました。

以上の結果、売上高9,412,832千円（前年同期比0.1%減）、営業利益422,419千円（同14.9%増）、経常利益368,272千円（同20.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は208,910千円（同7.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

①駐車場事業

駐車場事業につきましては、社会経済活動の回復に伴い、駐車場利用者が徐々に回復する中、安心・安全な車室の提供に努めてまいりました。

以上の結果、売上高5,119,902千円（前年同期比1.0%増）、営業利益311,886千円（同75.5%増）となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の駐車場数は890ヶ所（前年同期より14ヶ所増、前連結会計年度末より5ヶ所増）、車室数は30,687車室（前年同期より766車室減、前連結会計年度末より754車室減）となっております。

②不動産事業

不動産事業につきましては、当第3四半期連結累計期間において、新築マンション2棟「トラスト鳥栖本町ネクサージュ（佐賀県鳥栖市、54戸）」及び「トラストレジデンス南里（福岡県糟屋郡志免町、28戸）」が竣工いたしました。また、既竣工物件である「トラストレジデンス八女（福岡県八女市）」及び「トラスト春日の杜レジデンス（福岡県春日市）」の販売も継続し、合わせて91戸の引渡しを実施いたしました。

以上の結果、売上高2,686,196千円（前年同期比4.0%減）、営業利益85,773千円（同46.1%減）となりました。

なお、当連結会計年度におきましては、更に、新築マンション1棟「トラスト福岡空港駅レジデンス（福岡県糟屋郡志免町、68戸、2024年6月引渡予定）」の竣工を予定しております。

③駐車場等小口化事業

不動産特定共同事業法に基づく駐車場小口化商品「トラストパートナーズ」の販売を中心として行う駐車場等小口化事業につきましては、当第3四半期連結累計期間において、「トラストパートナーズ第31号（大阪市西区、販売総額184,000千円）」及び「トラストパートナーズ第32号（大分県大分市及び広島県尾道市、販売総額170,000千円）」を組成、完売いたしました。

以上の結果、売上高404,863千円（前年同期比48.1%増）、営業利益22,549千円（前年同期は2,907千円の営業損失）となりました。

なお、当連結会計年度におきましては、更に、「トラストパートナーズ第33号（北九州市門司区、販売総額115,000千円）」の組成を予定しております。

④メディカルサービス事業

メディカルサービス事業につきましては、「介護老人保健施設みやこ」、「福岡信和病院」及び「石田病院」等の賃貸収入等により収益は概ね堅調に推移した一方、貸倒引当金を計上したことにより、営業損失となりました。

以上の結果、売上高194,490千円（前年同期比0.7%増）、営業損失34,961千円（前年同期は7,033千円の営業利益）となりました。

⑤RV事業

RV事業につきましては、キャンピングカーの製造、販売及び修理・リノベーション等に注力いたしました。

以上の結果、売上高261,498千円（前年同期比18.4%減）、営業利益16,638千円（同148.1%増）となりました。

⑥ウォーター事業

ウォーター事業につきましては、高濃度水素水の製造・販売等に注力いたしましたが、発生剤不具合による商品の自主回収を行い、棚卸資産評価損を計上いたしました。

以上の結果、売上高18,806千円（前年同期比77.7%減）、営業損失45,026千円（前年同期は10,686千円の営業利益）となりました。

⑦その他

その他につきましては、温浴施設「那珂川清滝（福岡県那珂川市）」、「和楽の湯下関せいらゆう（山口県下関市）」の来館者数回復及び警備契約獲得等に努めてまいりました。

以上の結果、売上高727,118千円（前年同期比6.9%増）、営業利益28,547千円（前年同期は4,386千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して483,758千円減少し、5,885,836千円となりました。主な減少要因は、現金及び預金の減少842,780千円であります。一方、主な増加要因は、不動産事業における仕掛販売用不動産の増加296,938千円であります。固定資産は前連結会計年度末と比較して141,568千円減少し、2,920,818千円となりました。主な減少要因は、土地の減少44,978千円、投資その他の資産に含まれる繰延税金資産の減少47,890千円、保有目的の変更及び減価償却費の計上による有形固定資産のその他に含まれる車両運搬具の減少21,931千円によるものであります。一方、主な増加要因は有形固定資産のその他に含まれるリース資産の増加36,542千円であります。

この結果、総資産は8,806,654千円となり、前連結会計年度末に比べ625,326千円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して917,589千円減少し、4,632,459千円となりました。主な減少要因は、短期借入金の減少673,000千円及び買掛金の減少371,766千円であります。一方、主な増加要因は、1年内返済予定の長期借入金の増加325,716千円であります。固定負債は前連結会計年度末と比較して128,832千円増加し、3,388,216千円となりました。主な増加要因は、長期借入金の増加94,778千円及びリース債務の増加24,403千円であります。

この結果、負債合計は8,020,676千円となり、前連結会計年度末に比べ788,757千円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して163,430千円増加し、785,977千円となりました。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加208,910千円であります。一方、主な減少要因は、剰余金の配当73,300千円であります。

この結果、自己資本比率は8.9%（前連結会計年度末は6.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年8月10日に公表いたしました「2023年6月期 決算短信」における連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,876,592	2,033,812
受取手形及び売掛金	205,998	267,431
販売用不動産	272,143	180,889
仕掛販売用不動産	2,009,607	2,306,545
商品及び製品	40,522	42,498
仕掛品	52,892	86,475
原材料及び貯蔵品	86,013	109,936
その他	1,159,595	1,225,011
貸倒引当金	△333,772	△366,764
流動資産合計	6,369,594	5,885,836
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	910,636	916,325
土地	770,242	725,264
その他（純額）	470,940	485,206
有形固定資産合計	2,151,819	2,126,795
無形固定資産		
のれん	13,171	—
その他	95,676	70,387
無形固定資産合計	108,848	70,387
投資その他の資産	801,718	723,634
固定資産合計	3,062,386	2,920,818
資産合計	9,431,980	8,806,654

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	649,765	277,998
短期借入金	2,737,000	2,064,000
1年内返済予定の長期借入金	1,037,178	1,362,894
リース債務	107,385	111,338
未払法人税等	148,638	61,576
資産除去債務	3,009	3,980
契約負債	150,065	247,934
賞与引当金	—	35,428
その他	717,006	467,310
流動負債合計	5,550,049	4,632,459
固定負債		
社債	400,000	400,000
長期借入金	2,110,326	2,205,104
リース債務	178,895	203,298
退職給付に係る負債	98,488	107,235
株式給付引当金	23,273	25,965
資産除去債務	154,301	161,747
その他	294,099	284,864
固定負債合計	3,259,384	3,388,216
負債合計	8,809,434	8,020,676
純資産の部		
株主資本		
資本金	422,996	422,996
資本剰余金	206,212	210,000
利益剰余金	551,639	687,249
自己株式	△555,930	△534,335
株主資本合計	624,918	785,910
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,371	66
その他の包括利益累計額合計	△2,371	66
純資産合計	622,546	785,977
負債純資産合計	9,431,980	8,806,654

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
売上高	9,419,686	9,412,832
売上原価	7,560,063	7,507,536
売上総利益	1,859,622	1,905,295
販売費及び一般管理費	1,492,043	1,482,876
営業利益	367,579	422,419
営業外収益		
受取利息	1,024	1,260
受取配当金	25	1,771
補助金収入	—	5,612
助成金収入	7,088	7,377
その他	21,194	11,241
営業外収益合計	29,332	27,262
営業外費用		
支払利息	74,812	66,585
その他	15,583	14,824
営業外費用合計	90,395	81,409
経常利益	306,516	368,272
特別利益		
固定資産売却益	20,679	—
ゴルフ会員権売却益	—	3,631
特別利益合計	20,679	3,631
特別損失		
減損損失	2,172	19,131
特別損失合計	2,172	19,131
税金等調整前四半期純利益	325,023	352,772
法人税、住民税及び事業税	82,518	97,142
法人税等調整額	17,035	46,718
法人税等合計	99,553	143,861
四半期純利益	225,469	208,910
親会社株主に帰属する四半期純利益	225,469	208,910

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	225,469	208,910
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,827	2,438
その他の包括利益合計	△1,827	2,438
四半期包括利益	223,641	211,349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	223,641	211,349

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(保有目的の変更)

当第3四半期連結累計期間において、保有目的の変更により、有形固定資産の「その他」に含まれる車両運搬具20,687千円を「商品及び製品」へ振替えております。なお、当該資産はすべて売却し、売上原価に計上しております。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症が会計上の見積りに与える影響について、重要な変更はありません。

(譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

当社は、2023年10月19日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分(以下「本自己株式処分」という。)を行うことについて、以下のとおり決議し、処分を行いました。

処分の概要

- (1) 処分期日 2023年11月15日
- (2) 処分する株式の種類及び数 普通株式 52,800株
- (3) 処分価額 1株につき469円
- (4) 処分総額 24,763,200円
- (5) 処分先及びその人数並びに処分株式の数

当社取締役(業務執行取締役)	3名	24,000株
当社子会社取締役	8名	28,800株
- (6) その他 本自己株式処分については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント						
	駐車場事業	不動産事業	駐車場等 小口化事業	メディカル サービス事業	RV事業	ウォーター 事業	計
売上高							
顧客との契約から生じる収益	5,069,667	2,793,646	36,514	21,564	320,455	84,479	8,326,327
その他の収益 (注) 4	—	4,837	236,834	171,667	—	—	413,340
外部顧客への 売上高	5,069,667	2,798,483	273,349	193,231	320,455	84,479	8,739,667
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	414	17,821	20,089	—	316	17,412	56,053
計	5,070,081	2,816,304	293,438	193,231	320,771	101,891	8,795,720
セグメント利益 又は損失(△)	177,764	159,060	△2,907	7,033	6,707	10,686	358,345

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
顧客との契約から生じる収益	680,073	9,006,400	△54	9,006,346
その他の収益 (注) 4	—	413,340	—	413,340
外部顧客への 売上高	680,073	9,419,740	△54	9,419,686
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	74,999	131,052	△131,052	—
計	755,072	9,550,792	△131,106	9,419,686
セグメント利益 又は損失(△)	△4,386	353,958	13,621	367,579

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業、警備事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去386,751千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△370,829千円及び棚卸資産等の調整額△2,301千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等及び「特別目的会社を活用した不動産の流動化に係る譲渡人の会計処理に関する実務指針」(会計制度委員会報告第15号)の対象となる不動産(不動産信託受益権を含む。)の譲渡等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年7月1日至2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	駐車場事業	不動産事業	駐車場等 小口化事業	メディカル サービス事業	RV事業	ウオーター 事業	計
売上高							
顧客との契約から生じる収益	5,119,902	2,680,679	39,853	23,104	261,498	18,806	8,143,844
その他の収益 (注)4	—	5,517	365,010	171,386	—	—	541,913
外部顧客への売上高	5,119,902	2,686,196	404,863	194,490	261,498	18,806	8,685,758
セグメント間の内部売上高又は振替高	489	18,313	23,858	291	53	18,391	61,397
計	5,120,392	2,704,510	428,721	194,781	261,551	37,197	8,747,155
セグメント利益又は損失(△)	311,886	85,773	22,549	△34,961	16,638	△45,026	356,859

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高				
顧客との契約から生じる収益	727,118	8,870,963	△45	8,870,918
その他の収益 (注)4	—	541,913	—	541,913
外部顧客への売上高	727,118	9,412,877	△45	9,412,832
セグメント間の内部売上高又は振替高	73,482	134,880	△134,880	—
計	800,601	9,547,757	△134,925	9,412,832
セグメント利益又は損失(△)	28,547	385,407	37,011	422,419

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業、警備事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去390,963千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△353,294千円及び棚卸資産等の調整額△656千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等及び「特別目的会社を活用した不動産の流動化に係る譲渡人の会計処理に関する実務指針」(会計制度委員会報告第15号)の対象となる不動産(不動産信託受益権を含む。)の譲渡等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

第1四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「ウォーター事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報)」に記載のとおりであります。